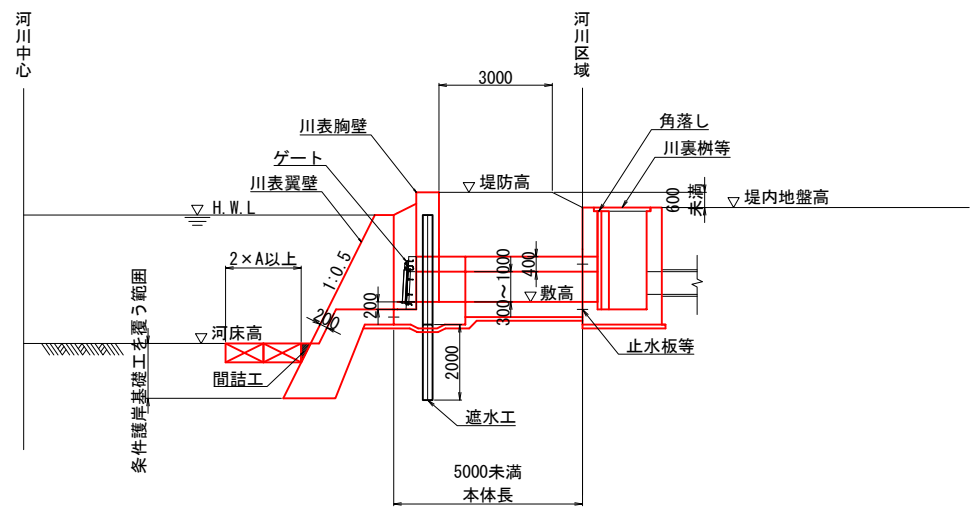


# 一般図集

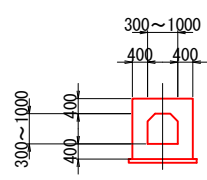


小規模樋管一般図(案)  
S=1:100

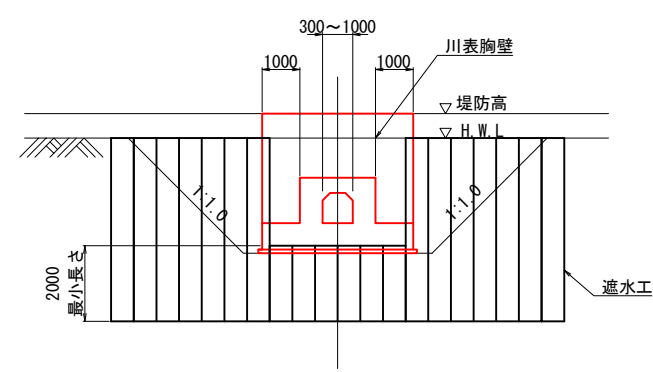
縦断面図



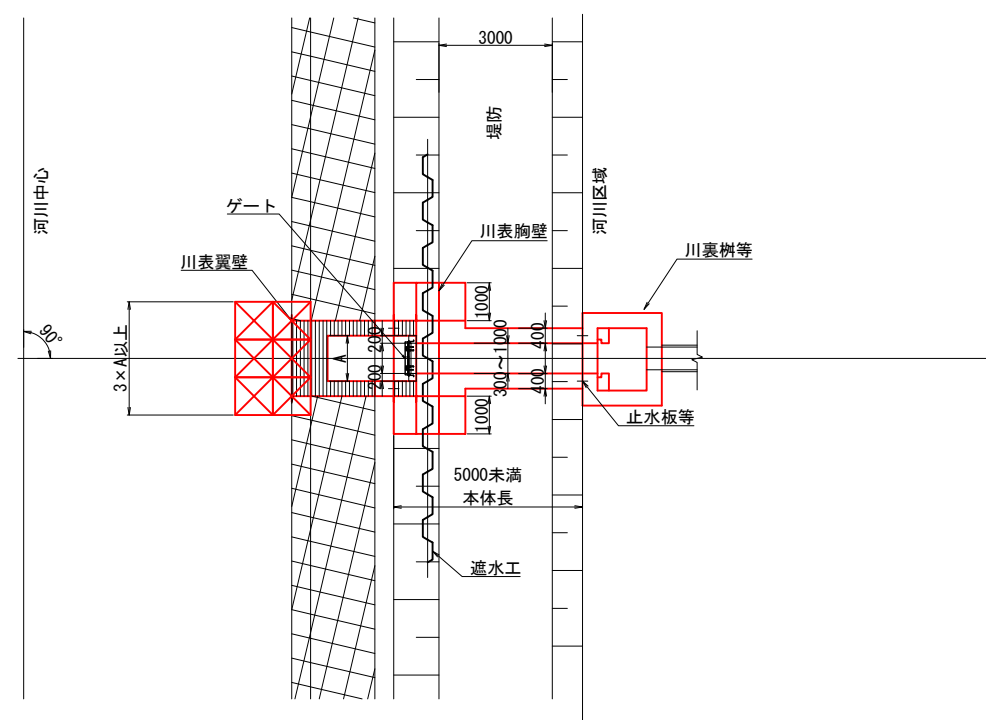
標準函体部



川表胸壁部



平面図

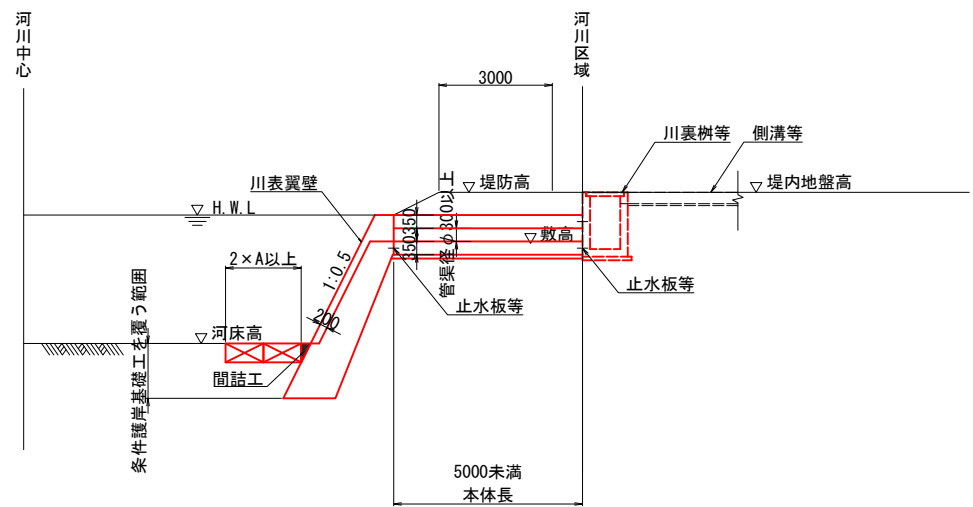


|         |          |
|---------|----------|
| 業 務 名   |          |
| 路 河 川 名 |          |
| 施工箇所名   |          |
| 図面の種類   | 小規模樋管一般図 |
| 縮 尺     | 1:100    |
| 図 面 番 号 |          |

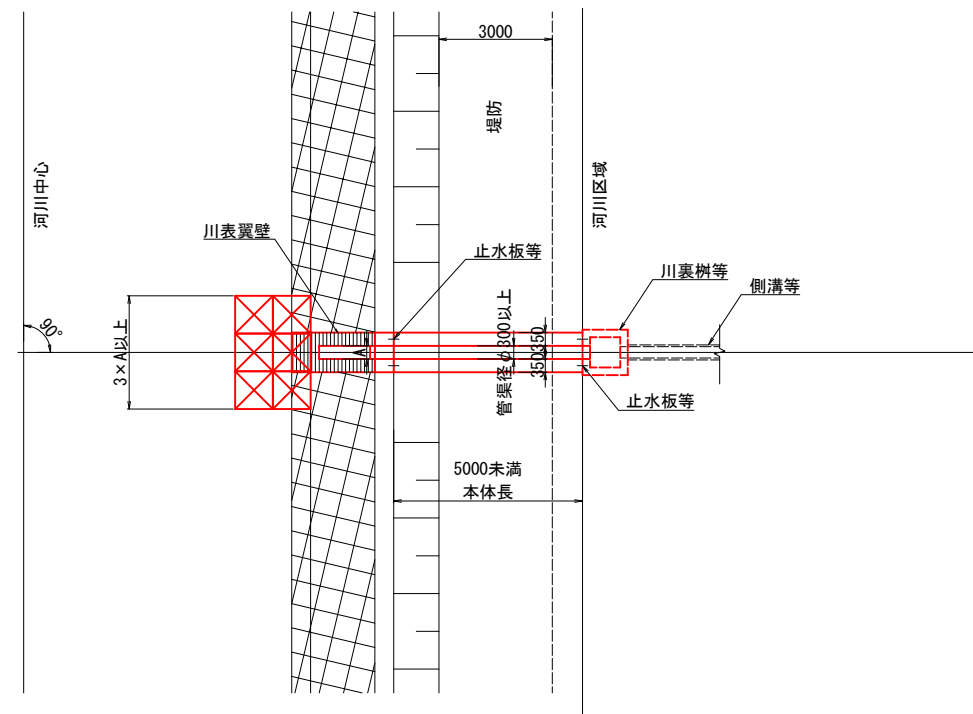
排水吐口工一般図(案)

S=1:100

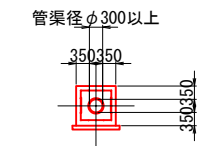
縦断面図



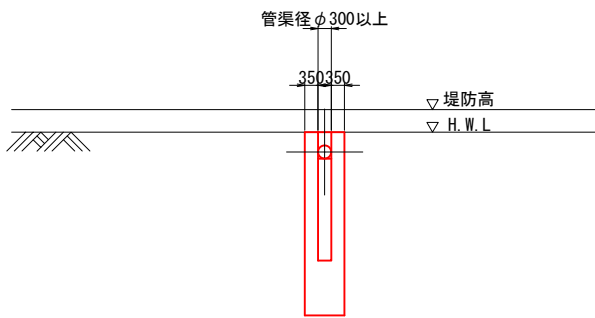
平面図



標準函体部



川表翼壁部



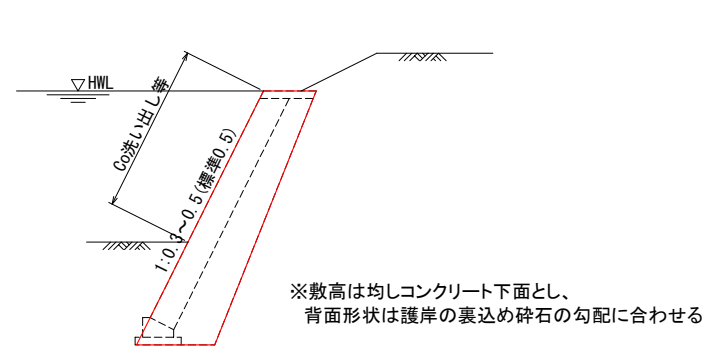
|         |          |
|---------|----------|
| 業 務 名   |          |
| 路 河 川 名 |          |
| 施工箇所名   |          |
| 図面の種類   | 小規模樋管一般図 |
| 縮 尺     | 1:100    |
| 図 面 番 号 |          |

# 小口止一般図(案)

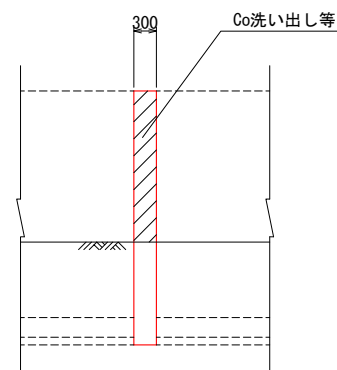
S=1:50

## 小口止(積み護岸)A

側面図

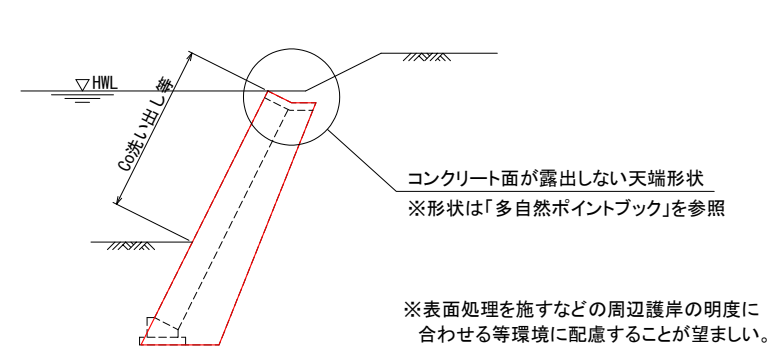


正面図

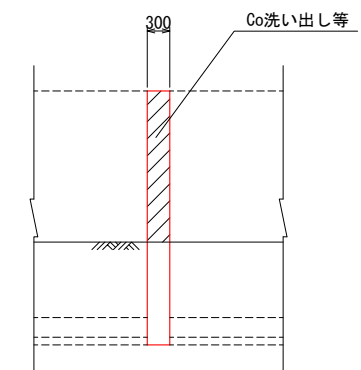


## 小口止(積み護岸)B

側面図

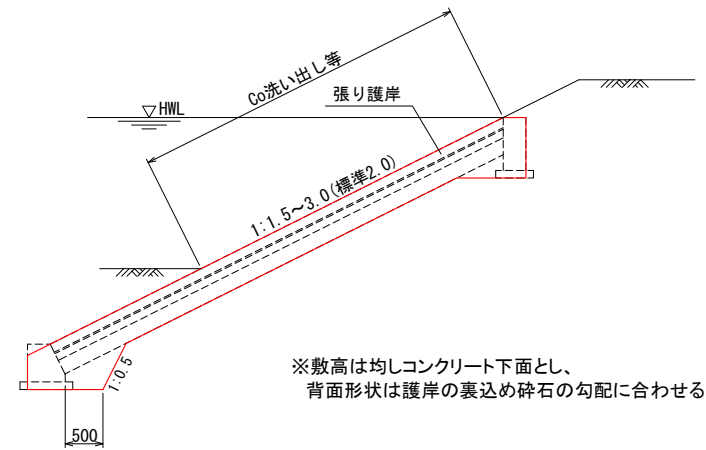


正面図

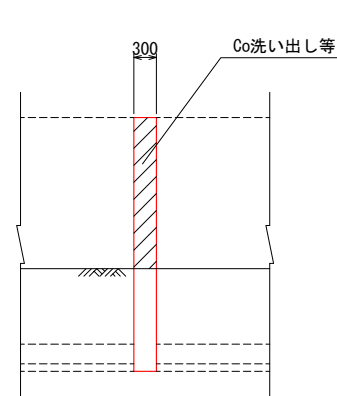


## 小口止(張り護岸)

側面図

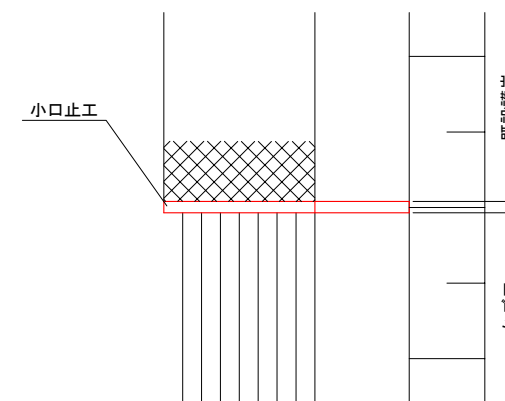


正面図

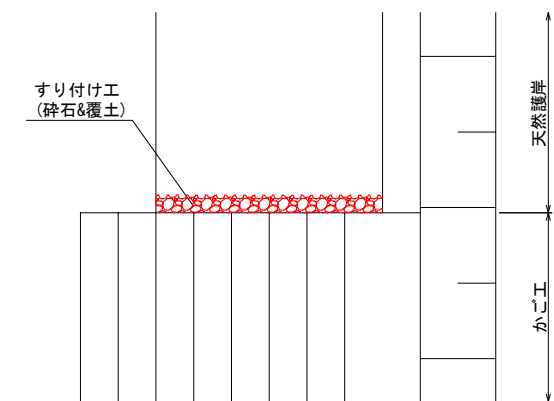


(補足)  
局部修繕工事など、かごマット工を実施する場合、既設護岸との端部処理は、下記を標準とする。

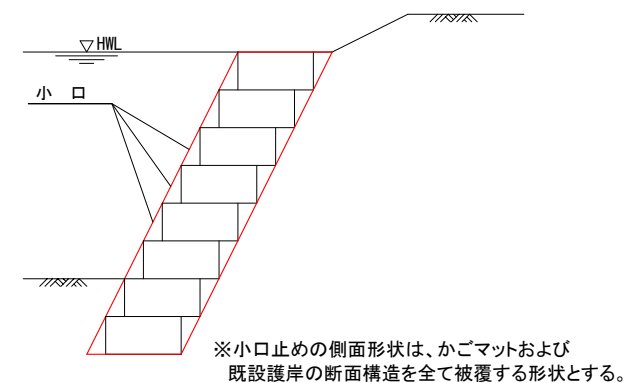
平面図



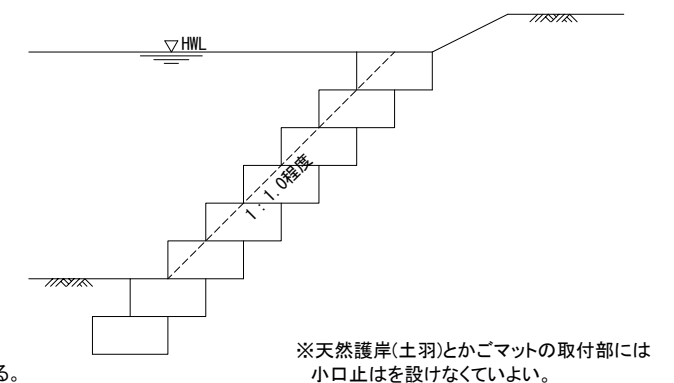
平面図



断面図



断面図



小口止工は、法覆工の小口保護や、構造・勾配の異なる法覆工の接続等の小口処理を行う必要がある場合に設置する。災害事業では、本復旧する構造物の両端に設置することを基本とする。

### 計画ポイント

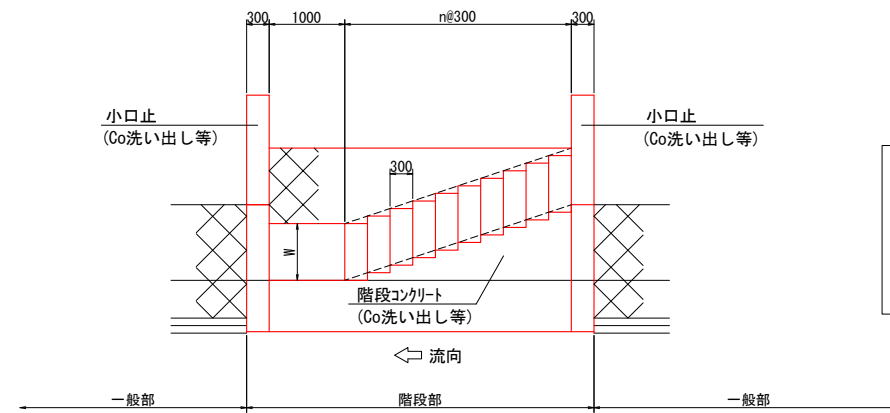
- ①小口止めの側面形状は、小口止めに接する護岸の断面構造を全て被覆する形状とする。
- ②小口止めの部材厚は、 $t=300\text{mm}$ を標準とする。
- ③小口止めの背面形状は、護岸の裏込め碎石の勾配線に合わせる。

# 階段一般図 1 (案)

S=1:50

## コンクリートタイプ

平面図

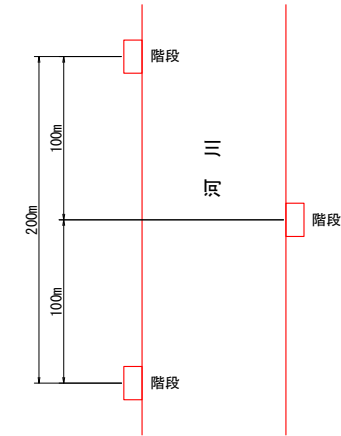


- 1 目的  
河川施設の一環とし、河川管理上、水際までのアプローチの確保のため設置する。
- 2 設置間隔  
設置間隔は200mを標準とする。ただし、河川の規模など全体的な配置等を考慮すること

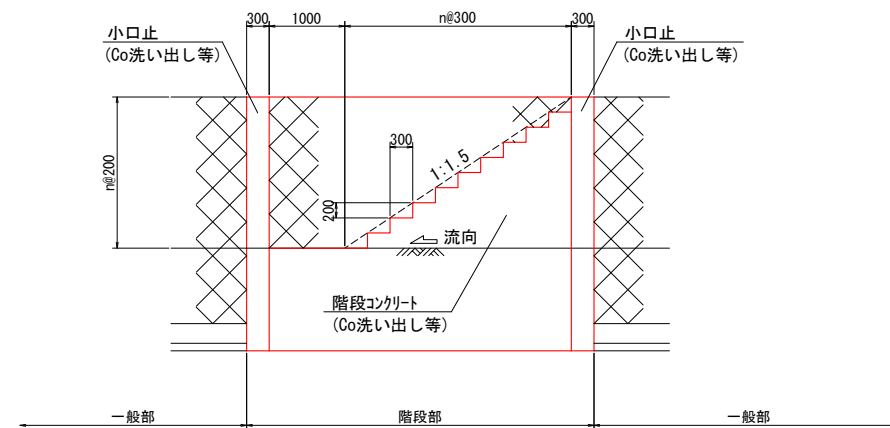
### 計画ポイント

- ① 階段幅Wは0.5m～1.0mとし、標準0.75mとする。
- ② 階段のステップ幅は0.3m、ステップ高は0.2mを標準とし、端数は階段下端部にて調整する。
- ③ 2割勾配の護岸における階段工は「河川構造物設計要領(中部地整)」を参照する。

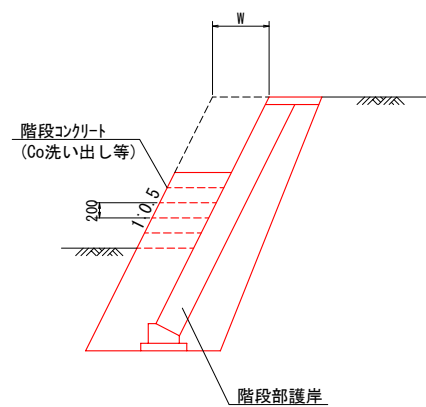
階段平面配置図



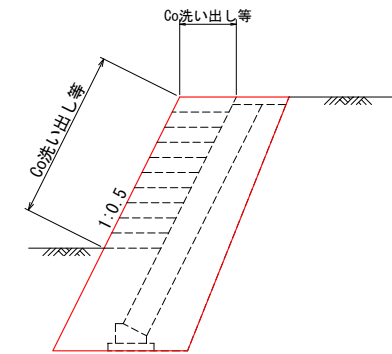
正面図



階段部

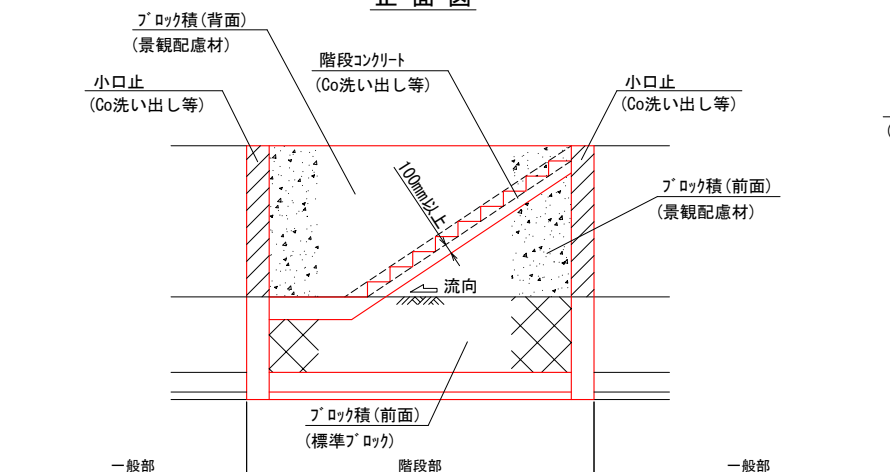


小口止部



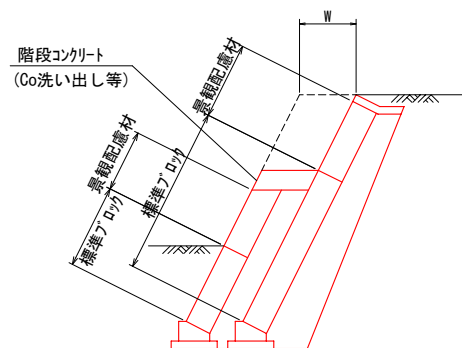
## ブロックタイプ

正面図

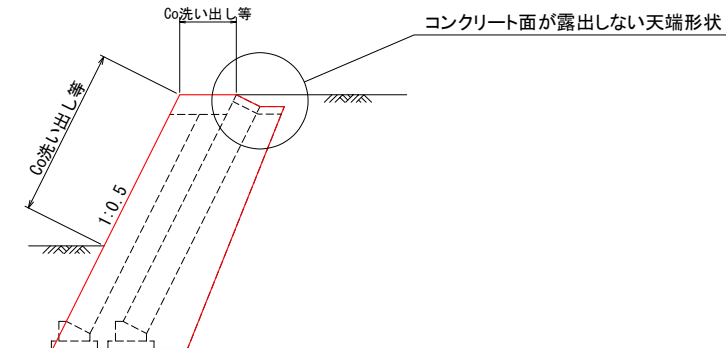


※階段コンクリート厚は、ステップ部を除いた部材最小厚として100mm以上になるよう計画する。

階段部



小口止部



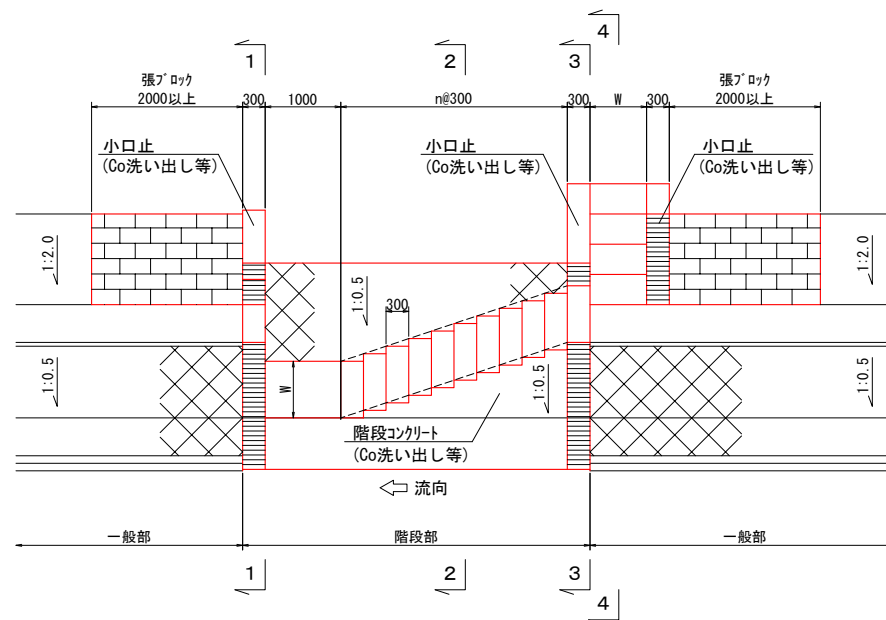
※無機質なコンクリート面がそのまま露出しないように  
河川全体の整備イメージと整合した計画を行う  
(粗面ブロック等の採用及びCo洗い出し等)

# 階段一般図 2 (案)

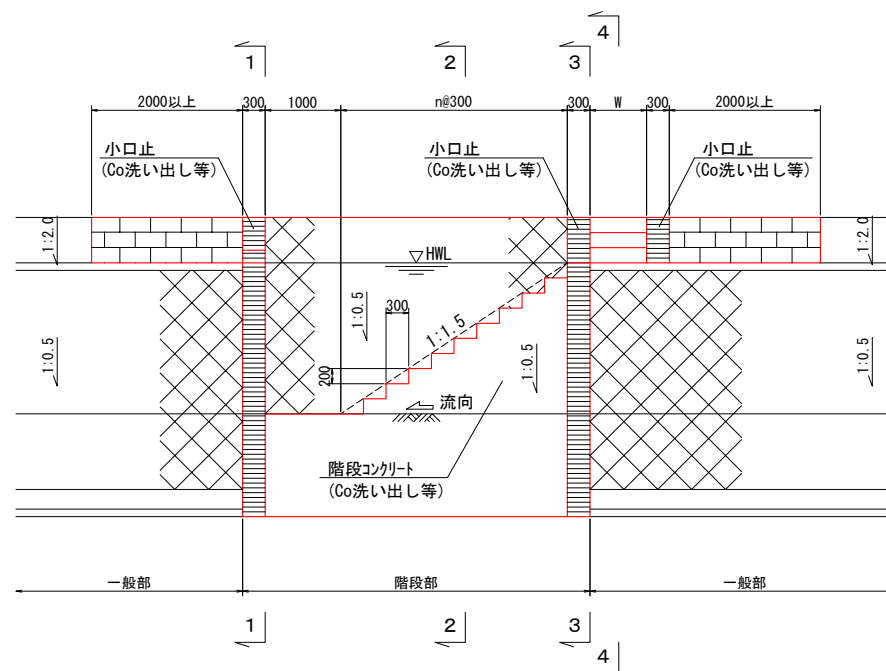
S=1:50

## アプローチ階段付タイプ

平面図



正面図



### 1 目的

河川施設の一環とし、河川管理上、水際までのアプローチの確保のため設置する。

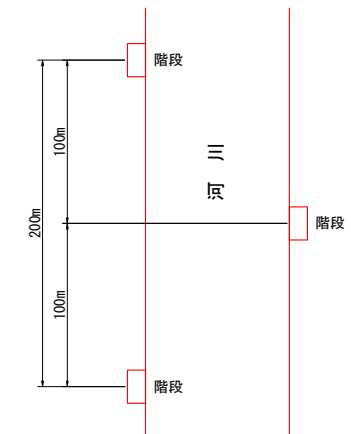
### 2 設置間隔

設置間隔は200mを標準とする。ただし、河川の規模など全体的な配置等を考慮すること

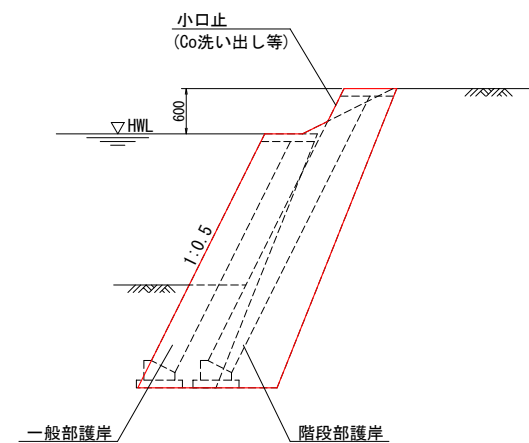
### 計画ポイント

- ①階段幅Wは0.5m～1.0mとし、標準0.75mとする。
- ②階段のステップ幅は0.3m、ステップ高は0.2mを標準とし、端数は階段下端部にて調整する。
- ③2割法面のステップ幅は0.4m、ステップ高は0.2mを標準とし、端数は階段下端部にて調整する。
- ④2割勾配の護岸における階段工は「河川構造物設計要領(中部地整)」を参照する。

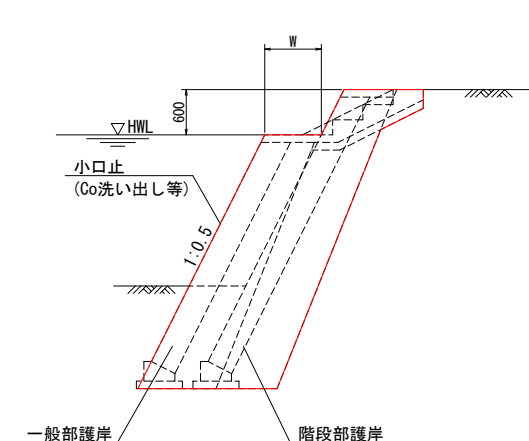
階段平面配置図



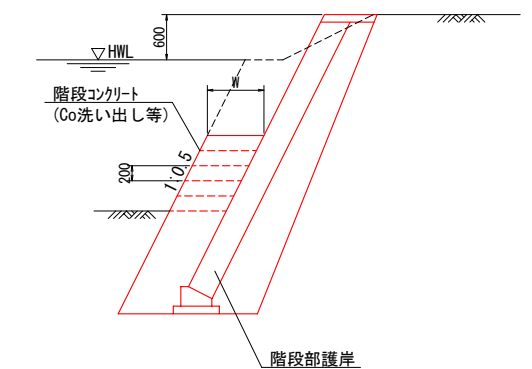
1-1断面



3-3断面



2-2断面



4-4断面

